



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キング

コード番号 8118 URL <http://www.king-group.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理部門管掌 (氏名) 石井 修二

TEL 03-5434-7282

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	8,193	△5.3	468	11.2	717	3.1	451	0.3
28年3月期第3四半期	8,649	△4.3	420	△44.2	696	△29.6	449	△27.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 580百万円 (20.4%) 28年3月期第3四半期 482百万円 (△31.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	23.73	—
28年3月期第3四半期	23.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	22,780	20,034	87.9
28年3月期	22,839	19,700	86.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 20,034百万円 28年3月期 19,700百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	△4.6	690	3.5	1,010	△3.5	620	△4.2	32.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	24,771,561 株	28年3月期	24,771,561 株
29年3月期3Q	5,765,728 株	28年3月期	5,765,658 株
29年3月期3Q	19,005,857 株	28年3月期3Q	19,236,101 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の減速懸念や米国新政権下における政策の不確実性の高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

アパレル業界におきましても、先行きの不安感から衣料品に対する節約志向や低価格志向が依然として根強く、非常に厳しい経営環境で推移いたしました。

このような環境のもと当社グループでは、お客様にご満足いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、独自性・複雑性の徹底追求、高品質・高感度な商品作りに引き続き注力すると共に、店頭運営力の更なる向上、生産管理の強化、経費の効率使用に努め、科学（構造式）をベースに、感性（想像力）を駆使して、継続的、安定的に質の高い事業内容を目指すべく取り組みました。

その結果、売上高は前年同期比5.3%減少の81億93百万円、営業利益は前年同期比11.2%増加の4億68百万円、経常利益は前年同期比3.1%増加の7億17百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比0.3%増加の4億51百万円となりました。

事業セグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### (アパレル事業)

アパレル事業は「強い商品力と販売力」が最重要課題であるという認識を基に、企画部門は高品質・高感度な付加価値のある「ものづくり」を目指して、ブランドコンセプトの明確化と差別化を徹底し、クリエイション力・MD力を強化して、更なる独自性と複雑性を追求すべく取り組みました。

営業部門は、質の向上を伴った売上高の拡大を最重要課題として認識し、店頭運営力の更なる向上に努めると共に、人材・能力を重視したショップ開発を推進してまいりましたが、衣料品に対する消費者の節約志向は依然として根強く、売上高は前年同期比5.0%減少の75億75百万円、営業利益は前年同期比4.5%増加の5億31百万円となりました。

#### (テキスタイル事業)

テキスタイル事業は、自己完結型ビジネススタイルを堅持しながら次世代育成も含めた継続性のある組織体制構築に取り組み、一方で「ヴィンテージコレクション」を中心とした意匠力の再整備や、素材・加工方法の開発推進による提案力の向上を推進し、企画提案型テキスタイルコンバーターとしての機能充実と新たな可能性追求に努めましたが、アパレル各社のブランド再編や市場環境を反映した発注抑制による影響が大きく、売上高は前年同期比7.9%減少の6億17百万円、営業利益は前年同期比1.3%減少の10百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は227億80百万円となり、前連結会計年度末比59百万円の減少となりました。

流動資産は118億26百万円となり、前連結会計年度末比3億92百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加等によるものであります。また、固定資産は109億53百万円となり、前連結会計年度末比4億51百万円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産の減少によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は27億45百万円となり、前連結会計年度末比3億92百万円の減少となりました。

流動負債は19億4百万円となり、前連結会計年度末比5億1百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少等によるものであります。また、固定負債は8億41百万円となり、前連結会計年度末比1億8百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債及び長期借入金の増加によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は200億34百万円となり、前連結会計年度末比3億33百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、87.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想は概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、平成28年11月7日に発表いたしました業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9百万円増加しております。

(2) 追加情報

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,687	8,001
受取手形及び売掛金	1,359	1,086
商品	2,036	2,316
原材料及び貯蔵品	31	51
繰延税金資産	119	45
その他	217	336
貸倒引当金	△17	△10
流動資産合計	11,434	11,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,878	1,760
土地	3,558	3,558
その他(純額)	303	280
有形固定資産合計	5,740	5,598
無形固定資産		
	472	552
投資その他の資産		
投資有価証券	1,305	1,503
長期貸付金	5	6
投資不動産(純額)	2,411	2,399
差入保証金	728	664
その他	758	245
貸倒引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	5,191	4,801
固定資産合計	11,404	10,953
資産合計	22,839	22,780

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	960	925
短期借入金	380	380
未払法人税等	224	66
賞与引当金	254	83
役員賞与引当金	21	13
その他	565	436
流動負債合計	2,406	1,904
固定負債		
長期借入金	-	30
繰延税金負債	3	68
退職給付に係る負債	225	214
資産除去債務	107	100
長期末払金	167	167
その他	229	259
固定負債合計	732	841
負債合計	3,138	2,745
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	10,605	10,809
自己株式	△1,705	△1,705
株主資本合計	19,372	19,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305	442
退職給付に係る調整累計額	22	15
その他の包括利益累計額合計	328	457
純資産合計	19,700	20,034
負債純資産合計	22,839	22,780

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	8,649	8,193
売上原価	3,684	3,544
売上総利益	4,964	4,648
販売費及び一般管理費	4,543	4,180
営業利益	420	468
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	29	32
受取地代家賃	299	281
貸倒引当金戻入額	6	7
その他	36	24
営業外収益合計	384	352
営業外費用		
支払利息	2	2
賃貸費用	104	98
その他	1	2
営業外費用合計	108	103
経常利益	696	717
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	18	44
特別損失合計	18	44
税金等調整前四半期純利益	677	673
法人税、住民税及び事業税	133	140
法人税等調整額	95	82
法人税等合計	228	222
四半期純利益	449	451
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	449	451
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	136
退職給付に係る調整額	3	△6
その他の包括利益合計	32	129
四半期包括利益	482	580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	482	580
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結会計期間(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月8日 取締役会	普通株式	289	15	平成27年3月31日	平成27年6月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年8月10日開催の取締役会決議に基づき自己株式45,000株、平成27年11月17日開催の取締役会決議に基づき自己株式259,600株を、それぞれ取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が130百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が17億5百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月9日 取締役会	普通株式	247	13	平成28年3月31日	平成28年6月13日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	7,978	670	8,649	—	8,649
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	33	50	△50	—
計	7,995	703	8,699	△50	8,649
セグメント利益	508	10	518	△97	420

(注) 1. セグメント利益の調整額△97百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△97百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	7,575	617	8,193	—	8,193
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	25	19	44	△44	—
計	7,601	636	8,237	△44	8,193
セグメント利益	531	10	541	△73	468

(注) 1. セグメント利益の調整額△73百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△75百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。